

モデル名称	AIST-RAM		
開発国	日本	開発機関 開発者	独立行政法人 産業技術総合研究所 安全科学研究部門
入手方法 (URL・価格等)	WEBから申込用紙を入手し、郵送によるCD-ROMの配布を申し込む(無料) http://www.aist-riss.jp/projects/RAM/index.html		
モデルの 目的概要	<p>海域における有害化学物質の環境濃度および生態系へのリスク評価を行うために、三次元流動モデル、生態系モデルと化学物質運命予測モデルとを結合したモデルである。モデルは沿岸域における年間を通じた物理場や生物場の計算結果から季節毎の平均場としてデータベース化し、簡単な操作により海水中の化学物質濃度の再現や予測ができるようになっている。</p> <p>このモデルは誰にでも容易に扱えるように、GUI化し Windows上で運用できるように開発した。</p>		
長所 ・ 有効性	<p>解析結果は水平・鉛直分布図と任意地点の時系列グラフで表示することができる。</p> <p>さらに、計算結果を数値データ(CSV形式)、画像データ(WMF形式、BMP形式、JPEG形式)として保存することができる。</p>		
短所 ・ 活用限界	<p>現時点(2009年11月)で使用できるのは、東京湾(AIST-RAMTB Ver.1.3)、伊勢湾(AIST-RAMIB Ver.1.3)、瀬戸内海(AIST-RAMSIS Ver.1.0)におけるモデルに限られている</p>		
参考文献 (文献・URL等)	<ol style="list-style-type: none"> 1. http://staff.aist.go.jp/crm-horiguchi/ 2. http://www.aist-riss.jp/projects/RAM/TB_index.htm 3. http://www.aist-riss.jp/projects/RAM/IB_index.htm 4. http://www.aist-riss.jp/projects/RAM/SIS_index.html 		